

にはできない事柄に思い当ることがあります。教育の技術・内容については気を配っていても、子どもに接するときのちょっとしたことが多いのです。教育者の態度の子どもに及ぼす影響、好ましい教師はどんな性格的要素をもっているかというような研究は、自分の性格に対する反省を促してくれます。教師が神経質であれば子どもも神経質になるでしょうし、教師がいつも必要以上に大きな声で話していると、子どもたちも大きな声でしゃべることを何とも思わなくなってしまうでしょう。教師は、子どもたちへの影響を考えて、自分の性格についても常に細かい注意を忘れてはならないと思います。

以上、教育の領域のなかで、教師が自身自身を理解するにはどうすればよいかを考えてきたわけですが、教師も社会の一員である以上、教育の領域を越えたもっと大きな複雑な一般社会の中で、自分自身を理解

することも考えなければなりません。教師は教育の面で専門家でありさえすればいいのではなく、円満な人格と広い視野をもった立派な社会人であるべきだと思います。それには、教育以外の仕事にたず

## 実際保育の場で 子どもを理解するには

市川学園

宇田川照子

桜のつばみがふくらみ、愛らしい小鳥の

唄声が聞える頃になって、新しい子どもたちを幼稚園に迎えると、早く一人一人を理解して、その子その子に適切な指導をした

い、と誰でも思うことでしょう。

子どもを理解する方法は種々ありますが、実際保育に当たっている私は、次のようなことを手がかりにして、子どもを理解す

さわっている人々とも意見を交換し、あらゆる角度から教師としての自分を眺め、社会人として不具にならないよう努めていかなければならないと思います。

るようにつとめています。

○入園前に行う面接

私の園では、毎年一月の下旬頃、新しく入園する子どもと母親に面接します。それは、子どもを選衡するためでなく、子どもと親しみ、子どもを理解するためです。保育室に母と子と一緒にいらり、一つ机に子どもと教師と向かい合い、他の机に母親と

園長が向かい合います。そして子どもに、自分の名前、物の名、色、数等、絵本や玩具を使って簡単に質問します。このようなことは今まで家庭にいた子どもたちにとつて、ほとんどが初めての経験です。けれどもこのような同じ場面に出会っても、子どもたちは、それぞれ違った行動をします。部屋にさえはいらず泣き出す子もいれば、反対に非常に愛敬よく社交的に振舞う子もいます。

顔色の悪い神経質そうな子、質問に、はきはき答える子、質問の意味が理解できず玩具で遊び始める子、一方、丁寧におじぎをさせる母親、子どもが早く答えるようせきたてる母親……  
こうした面接で子どもの健康状態、身体発育の様子、社会性や知能の発達程度、意志の発表力、母親の子どもに対する態度などの概略がわかります。このようなことを一応記録しておき、あとで参考にします。

氏名	面接時の印象		調査表によつて	
	兄弟数	順位	特殊な事情	
〇〇〇〇	0	(独) 1	両親、祖父母等、大人の中で育った一人子。	
〇〇〇〇	2	(末) 2	一日一五〇円もお小づかいをつかう。商家で忙しい。左利きである。姉と九つちがう。	
〇〇〇〇	3	(中) 2	小児麻痺の兄、就学免除。しつっこい性質。	

### ○幼児家庭生活調査表

いよいよ入園式になると、幼児家庭生活調査表を配り、一週間位の間に、詳しく書き入れて提出して貰います。その内容は、家族構成・住居・発育状況(出産・哺乳・言語・食事)健康状態(既応歴・かかりやすい病気・睡眠・排泄)家庭での生活(世話する人・好きな遊びや玩具・お小づかい・性質)入園前の教育・家庭での教育方針などです。用紙が提出されたら、一人一人よく目を通して、特に目立った記録があったらしるしをつけておきます。たとえば、両親・祖父母・叔父・叔母・同居人・使用人など沢山のおとなの中で育った一人子とか、小児麻痺で就学免除になっている兄をもつ子、異常出産、早産、出生時体重五〇〇匁位の子、一日一五〇円もお小づかいを使う子、既応歴の多い子、就寝のおそい子、左利きの子等です。特殊な事情はその子を理解する手がかりになるからです。次に面接の時の印象と調査表の特殊事情

を、一人一人次のようにまとめてみます。また、兄弟数と出生順位は、参考になるので、全部記録しておきます。

### ○子どもの行動の記録

毎日子どもたちと一緒に生活していると、種々な機会に子どもを理解する手がかりになるような行動に気づくことがあります。それらを日誌に記録しておきます。たとえば、

#### ○月○日

Tは様子を見に来た母親を見つけ、帰ると泣く。お菓子をくれないといってぐずったとのこと。なだめて連れて来ますと母親が連れて出る。もどってきたらポケットに、アメ、衛生ボールをたくさんいれてきた。

#### ○月○日

Fは朝から、どっかり腰をおろし、他の子が元気に外遊びするのに本ばかりみている。誘っても外へ出たがらない。疲労して

いるのだろうか。顔色は悪くなく肥っているが、堅肥りでない。幼児語がひどい。

これらは入園間際の記録ですが、保育中に気づいたことなど、簡単に記録しておきます。

### ○母親との話し合い

こうして記録しておいて、あとで母親と会った時に、幼稚園の様子を率直に話すようにします。そして、母親から、家庭での

様子をうかがいます。前にお菓子をもらった子どものことを記しましたが、母親が次のように話してくれました。「何しろ朝ごはんを食べないんです。隣りがお菓子屋で一日お菓子ばかり食べてるんです。それが一日一五〇円じゃきかないんですよ。家は商売しているので、お客のいる時お金お金といわれると、ついうるさくなってやっってしまうんですよ。三度に一度はしおきするんですがね。何しろ、年取ってできた子でおとうちゃんが甘くて……」

朝食もとらず一日一五〇円もお小づかい

をつかわせる一方、三度に一度はしおきするとうような育て方……

また、やせた色の白い子で私のところへ細かいことまで、きぎに来る子どもがいまいた。調査表をみると非常に好ききらいが多くほとんどのものを嫌いで困る、と書いてありました。その子の母親は次のように話してくれました。

「この子が赤ちゃんの時、母乳が足りなくて医者に牛乳で補うようにいわれたのですが、おばあちゃんが、母乳以外のものをのませて、もしお腹でも悪くすると大変だ。

医者には牛乳を足していますとっておけばいい……と聞いてどうしても医者のようにさせないんです。それで、この子は発育が悪く病気がかりしているんです。下に弟ができてからはおばあちゃんもわかってくれて混合栄養にしたので、弟の方が発育がよく身体も大きいんです。今では、わたしが我が張って可哀相なことをした、とおばあちゃんは、くやんでいるのですが……

：

母親の話をきいていると、その家庭のふん囲気や対人関係、子どもの育て方などがわかり、子どもを理解するのに非常に役立ちます。こうした話し合いは、母親が送り迎えにみえた時、母の会終了後の懇談会、家庭訪問した時などに行います。

### ○子どもの表現

・言葉による表現

自由遊びの時、おべんとうを一緒にいただく時など、子どもたちの方から、家のこと、父母のこと、兄弟のこと、外出したことなど、話してくれることがあります。また私の方から、きのうの日曜日何した？

どんな遊びがすき？ どんな食物が好き？

とか、三つのねがい等という紙芝居をしたあとに、もしみんなが何でも三つおねがいができるとしたら、何っておねがいます？と尋ねたりします。子どもの言語表現から、友人間の交渉や、子どもの欲求などがわかることがあります。

・絵による表現

子どもの絵は、子どもの心を知る鏡であるといわれますが、絵も子どもを理解する手がかりになることがあります。絵を描きたがらなかつたり、隠したりする子は、下手だといわれた経験があるのかもしれないし、大きさも小さく、色も貧弱で、固まった絵しか描けない子の生活は、楽しい充実したものではないのかもしれない。非常に緻密な絵を描く子は、知能が高いのだろうか、特殊能力があるのだろうか……等と、子どもの絵を見て、その子のことを考えさせられる場合があります。そのような時、子どもの絵は子どもを理解する手がかりになります。

### ○遊びの観察

子どもたちが、自分たちでグループを作って自発的にままごとや鬼ごっこ等の遊びを展開できるようにすると、私は時々、その遊び工合を観察することがあります。いつもリーダーになっている子、リーダーに

なれないと、遊びをこわす子、またいつも追隨者になって、楽しく遊ぶ子、遊びの規則を破って仲間はずれにされる子、自分が不利な立場になると、遊びからぬけてしまいう子……

遊びを観察していると、集団内での子どもの地位、その地位に対する満足、不満、友人間の交渉等、子どもの集団内での行動の仕方がわかり、子どもを理解するのに役立ちます。

○その他ある子どもの知的発達をとくに知りたい場合には矢張り知能検査をします。また、級全体の子どもに簡単な知能検査のような課題を与えて、子どもたちの知的発達の程度を知ることがあります。

非常に不十分ですが、私は実際保育に当りながら、前に託したようなことが手がかりにして、子どもを理解するようにつとめています。